



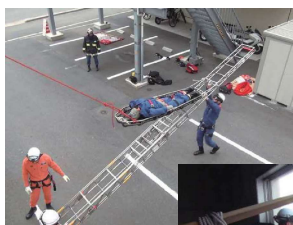
安全迅速な現場活動を目指して

署内救助技術錬成会を実施

2月27日(水)消防庁舎訓練塔において、高所や低所に取り残された要救助者に対する救助活動の知識・技術の向上を目的として、全署員による救助技術錬成会を実施しました。

錬成会では各隊が日頃鍛えた訓練成果を展示し、その活動に対する検討会を行いました。

消防署では、錬成会を通じて、救助技術の情報共有を行い、より安全で迅速な現場活動が実施できるように更なる向上を目指します。



写真は、救助訓練および検討会のようす

平成31年2月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	合計	H31累計
火災	0	0	0	0	0	0
救急	15	7	5	3	30	75

(平成31年2月28日現在)

上島町消防署 ☎77-4118

これは、長年の消防団活動への献身と、地域住民の安全確保に尽力されたことが評価され、今回の受賞となります。

大分県消防団長の今後ますますのご活躍を期待いたします。



魚島方面隊 第1分団 大林 清孝 副分団長

特別知事表彰受賞

自治体消防制度発足70周年記念

住宅に設置している住宅用火災警報器はしっかり点検できていますか？適切に機能するには、日頃からの適切な維持管理が重要です。1ヶ月に1回を目安に作動点検をしておきましょう。また、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで、火災を正しく感知しなくなる可能性があります。大切な命を守るため、10年を目安に住宅用火災警報器を交換しましょう。不明な点については、上島町消防署までお問い合わせ下さい。

住宅用火災警報器の点検

点検の方法

ボタンタイプ ひもタイプ



○ 正常な場合

「ピー ピー ピー 火事です」と鳴ります。※警報音はメーカーによって異なります。

× 作動しない場合

鳴らない場合は、故障か電池切れです。なお、電池切れと判明した警報器が設置から10年以上経過している場合は、本体の交換を推奨します。

病害は始め白色の小さなカサブタ状で、後に拡大し褐色の大きな病斑となります。図1。激発すると枝にも病斑が発生し、葉の病斑

被害のようす

かのような病はかんきつ類に発生する細菌性の病気です。品種により抵抗性が違い、温州みかんは比較のかりにくく、レモンや甘平などはかかりやすい品種です。表1。病原菌は強力な伝染性・流行性をもっており、防除ができていなかったり、強風を伴う雨があたりたりと大きな被害が出てしまいます。特にレモンは、かのような病の被害がでやすいので毎年必ず防除して下さい。



図1 果実に発生した病斑



図2 枝に発生した病斑

防除のポイント

1 発病しやすい品種、昨年発生が多く見られた園では、発芽前に銅剤で必ず

2 台風、大雨、長雨が予想される場合は、降雨前の予防散布が効果的です。また、発病しやすい品種は天候が回復した後に再度防除するのが理想です。

3 発病した葉や枝などは越冬し次年度の発生源となるので、見つけしだい切除します。また、夏秋枝はハモグリガの防除を徹底するとともに、適期に整理します。

4 発病しやすい品種を栽培する場合は、風当りの少ない園地に植えるか、生け垣、ネットなどで防風対策を行います。苗木や窒素過多の樹は発

条件で多発します。このため、春に気温が高めで強風を伴った降雨があると発生が急激に拡大し、春芽や幼果実でも発生します。葉の気孔感染は3cm程度に展葉した頃から6月頃の硬化期までで、果実の感染は果実の直径5〜6mmから8月頃までです。ただし、台風などの強風による傷口感染は10月頃までで、果実にも感染します。さらに、夏芽、秋芽にミカンハモグリガの被害があると、発病しやすくなります。図3



図3 ハモグリガ食害痕に発生した病斑

表2 かいよう病の防除時期 (レモン)

防除時期	薬	剤
2月〜3月	ICボルドー 66 D 40倍 または、ムッシュボルドー DF 500倍	
4月〜5月上旬	ICボルドー 66 D 80倍+アピオン E 1000倍	
6月上旬	ICボルドー 66 D 80倍+アピオン E 1000倍 または、園芸ボルドー 500倍	

表3 かいよう病の防除時期 (中晩柑)

防除時期	薬	剤
3月中下旬	ICボルドー 66 D 40倍 または、ムッシュボルドー DF 500倍	
4月下旬	ICボルドー 66 D 80倍+アピオン E 1000倍	
6月中旬(多発期)	ICボルドー 66 D 80倍	
応急防除	キンセツ水和剤 600倍	

病しやすいため、管理には注意が必要です。